

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	聖隷放課後クラブ はなえみ森町			
○保護者評価実施期間	2024年 10月 30日		～	2024年 11月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2024年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりに合わせた支援が提供されている。	・一人ひとりに合わせた綿密な個別支援計画の作成。 ・職員間における児童情報の共有。 ・日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解を図っている。	・日々の個別支援の実践と振り返りの実施。 ・個に合わせた活動の提供。
2	家庭への支援が丁寧に行われている。	・保護者に対する職員からの共感的な支援。 ・こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を徹底している。 ・定期的に通信等を発行し、コドモン等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信している。 ・家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	・要望があった時は速やかに面談を実施していく。 ・悩みや不安事にタイムリーに対応する。
3	安心した事業経営が行われている。	・全職員による放課後等デイサービス計画に沿った支援の提供。 ・全職員による個人情報の取扱いの十分な配慮。	・職員の質の向上のため、勉強会や研修への参加をする。 ・コドモンカレッジを利用したの勉強の実施。 ・聖隷ネットワークの活用。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間が心地よく過ごせる環境になっていない。	・専用の手洗い場、トイレがなく、部屋も狭いため心地の良い環境ではない。 ・肢体不自由児童が車椅子から降りて安全に活動出来るスペース、またオムツ交換等に利用するベッドがない。	・臨機応変に入居のスペースを借りる等の対応をする。 ・パーティションを利用して空間分けをする。 ・配置の再検討をする。
2	障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制ができていない。	・児童が学校にいる時間とサービス提供時間は対になっているが、十分な連携体制が出来ていない。また学校は放課後等デイサービスは保護者と事業所との契約であるという姿勢で、個人情報基本公表しないため個に対する下校時間、行事情報の共有ができない。	・保護者の了承を得た上で、学校へ様子の問い合わせを実施していく。
3			